

(別表－1) 割増対象賃金比及び1時間当たり割増賃金係数 <令和7年3月から適用>

職種	割増対象賃金比 (A)	1時間当たり割増賃金係数 K		
		割増係数 1.25 (A)×1/8×1.25	割増係数 1.35 (A)×1/8×1.35	割増係数 0.25 (A)×1/8×0.25
特殊作業員	0.769	0.120	0.130	0.024
普通作業員	0.828	0.129	0.140	0.026
軽作業員	0.851	0.133	0.144	0.027
造園工	0.773	0.121	0.130	0.024
法面工	0.826	0.129	0.139	0.026
とび工	0.860	0.134	0.145	0.027
石工	0.858	0.134	0.145	0.027
ブロッiker工	0.835	0.130	0.141	0.026
電筋工	0.706	0.110	0.119	0.022
鉄骨工	0.872	0.136	0.147	0.027
塗装工	0.831	0.130	0.140	0.026
溶接工	0.824	0.129	0.139	0.026
運転手(特殊)	0.778	0.122	0.131	0.024
運転手(一般)	0.793	0.124	0.134	0.025
潜かん工	0.861	0.135	0.145	0.027
潜かん世話役	0.718	0.112	0.121	0.022
さく岩工	0.683	0.107	0.115	0.021
トンネル特殊工	0.931	0.145	0.157	0.029
トンネル作業員	0.888	0.139	0.150	0.028
トンネル世話役	0.903	0.141	0.152	0.028
橋りょう特殊工	0.851	0.133	0.144	0.027
橋りょう塗装工	0.855	0.134	0.144	0.027
橋りょう世話役	0.818	0.128	0.138	0.026
土木一般世話役	0.775	0.121	0.131	0.024
高級船員	0.720	0.113	0.122	0.023
普通船員	0.737	0.115	0.124	0.023
潜水士	0.807	0.126	0.136	0.025
潜水連絡員	0.887	0.139	0.150	0.028
潜水送気員	0.876	0.137	0.148	0.027
山林砂防工	0.775	0.121	0.131	0.024
軌道工	0.823	0.129	0.139	0.026
型わく工	0.898	0.140	0.152	0.028
大工	0.896	0.140	0.151	0.028
左官	0.835	0.130	0.141	0.026
配管工	0.764	0.119	0.129	0.024
はつり工	0.830	0.130	0.140	0.026
防水工	0.782	0.122	0.132	0.024
板金工	0.799	0.125	0.135	0.025
タイヤ工	0.963	0.150	0.163	0.030
サシ工	0.785	0.123	0.132	0.025
屋根ふき工	0.782	0.122	0.132	0.024
内装工	0.861	0.135	0.145	0.027
ガラス工	0.738	0.115	0.125	0.023
道具工	0.851	0.133	0.144	0.027
ダクト工	0.720	0.113	0.122	0.023
保温工	0.740	0.116	0.125	0.023
設備機械工	0.746	0.117	0.126	0.023
交通誘導警備員A	0.860	0.134	0.145	0.027
交通誘導警備員B	0.908	0.142	0.153	0.028

<参考>

—割増賃金の計上が必要な場合の労務費（割増賃金を含む総額）の計算例—

(1)時間外

- ① 所定労働時間の8時間に加え、2時間の時間外労働を行う場合（すべて深夜以外の時間帯の場合）

労務費（総額）＝単価+単価×K（割増係数1.25の場合の値）×2時間

- ② 所定労働時間の8時間に加えて4時間の時間外労働を行い、うち2時間が深夜の時間帯の場合

労務費（総額）＝単価+単価×K（割増係数1.25の場合の値）×4時間+単価×K（割増係数0.25の場合の値）×2時間

(2)休日

- ① 休日に8時間の労働を行う場合（すべて深夜以外の時間帯の場合）

労務費（総額）＝単価×K（割増係数1.35の場合の値）×8時間

- ② 休日に9時間の労働を行う場合（すべて深夜以外の時間帯の場合）

労務費（総額）＝単価×K（割増係数1.35の場合の値）×9時間

- ③ 休日に10時間の労働を行い、うち2時間が深夜の時間帯の場合

労務費（総額）＝単価×K（割増係数1.35の場合の値）×10時間+単価×K（割増係数0.25の場合の値）×2時間

(3)深夜

- ① 所定労働時間8時間の労働を行い、うち3時間が深夜の時間帯の場合

労務費（総額）＝単価+単価×K（割増係数0.25の場合の値）×3時間

※割増係数は、労働基準法第37条第1項及び第4項に規定されている時間外、休日及び深夜の割増賃金の計算に用いる率の最低限度に基づくものとする。